

第41回広島県緑の少年団 交流会（活動発表会）

開催概要

・主旨：県内の緑の少年団が一堂に会し、自然に親しみながら、相互の研さん、交流と親睦を図るとともに、自律・友愛・協同・奉仕の心を養うため、活動発表会を開催した。

・日時：令和5年8月2日（水）

10時40分～15時30分

・場所：広島市青少年野外活動センター（安佐北区安佐町小河内）

・主催：広島県緑の少年団連盟

・参加団体：4団体

可部南グリーンズ緑の少年団、

吉和緑の少年団、切串緑の少年団

莊野緑の少年団（ビデオ参加）

・参加者数：団員・指導者計43名

開催次第

まず、広島県緑の少年団連盟会長の代理として奥迫事務局長が開会のあいさつを行った。

次に、各緑の少年団から日頃の活動内容を発表した後、意見交換を行った。午後は、農業体験、クラフト教室で交流し、無事終了した。

各緑の少年団の主な発表内容

■吉和緑の少年団（廿日市市）

小・中一貫校であることを活かし、小中学生が連携した活動や吉和の優れた自然環境を学ぶ活動を行っている。発表では、吉和地域の紹介、学校周辺でのひまわりの苗植え、野鳥観察や木工品づくり、職場体験として、安田林業での林業体験学習などを紹介した。



■可部南グリーンズ緑の少年団（広島市）

少年野球を母体として、子ども達の人間性の幅を広げるため、少年団としても毎月活動している。日常の活動場所以外に、みどりの集い、ひろしま山の日県民の集い、自然体験思い出づくり、卒団記念植樹などを行っている。発表では、卒団記念植樹としてアオダモの植栽、不用品の伐採などを紹介した。



■切串緑の少年団（江田島市）

学校での緑化活動や学校の南に位置する古鷹山にある学校林での森林体験活動を行っている。発表では、結団式の様子、緑の学習として遠足での生き物観察や自然観察、クマン岳への登山、一人一鉢運動を紹介した。



■莊野緑の少年団（竹原市）

ビデオ参加として、学校の概要、地域のお年寄りに届ける花鉢配り活動、菊（クシヨシマム）の栽培、学校にいつもたくさんのお花が咲いているように常時活動を行っていることなどを紹介した。



■農業体験

ミニトマト、長ナス、ピーマンの収穫を体験した。



■クラフト教室

竹でブンブンこまを作製した。

